

リフォーム前

地域と人との繋がりが、地域と子供たちの繋がりを様々な角度から伝え、自らも空き家を活用し、地域と人の「繋がる場」を提供し活動しているご主人様のMさん。そんなMさんからリノベーションの相談を頂いたのは、昨年の年明けの事。高校生まで住んでいた実家は当時空き家となっており、解体の話が出ていました。当時Mさんには長男が生まれ、マンションに暮らしていた為、近隣の住人や地域との接点が少なく、地域に見守られながら安心して伸び伸びと子育てがしたいという思いから実家のリノベーションを決意。同時に自らの暮らしを一から考え直し、自分たちが思う「自分たちにとっての豊かな暮らし、丁寧な暮らしとは何か」「自分たちのライフスタイルに合わせ変化できる暮らし方とは何か」を一緒に考えカタチにしていく事にしました。考えた中で出たMさんのご要望は「自分たちで暮らしを作りたい」「家族の時間を豊かにしたい」「子育てのできる環境を作りたい」「地域との繋がりをもちたい」という事でした。



①玄関へ入ると正面には浴室が。階段に設けられたステンレスの格子は冷やかな印象でした。
②1階の和室は聚楽調の壁と板張りの天井で、家族が集うには明るいとは言えない空間でした。
③和室の奥には、建具で仕切られた狭いキッチンが。洗濯機置き場も併用していました。
④日当たりの良い2階の洋室と和室は、家族の寝室として利用されていました。



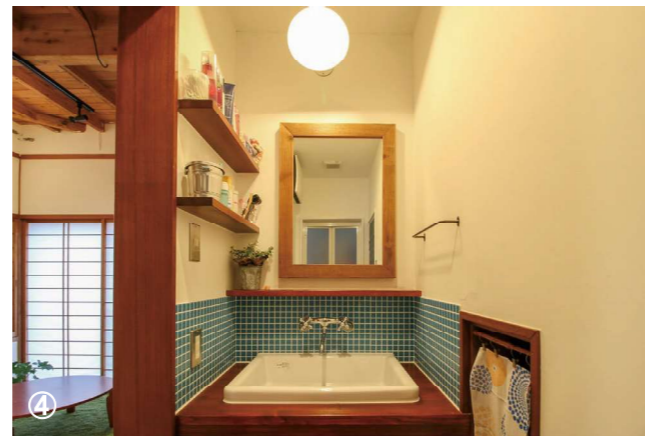
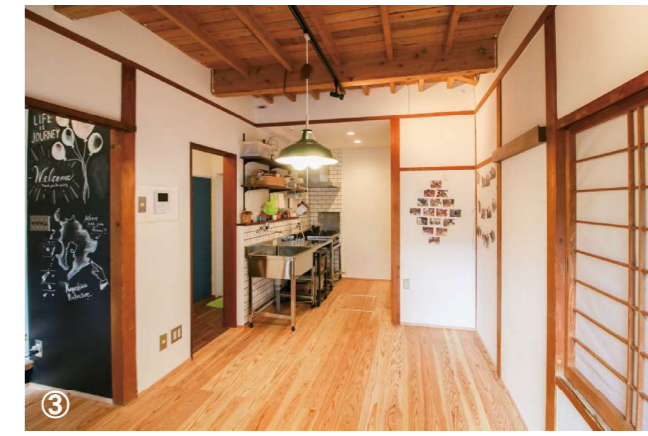
1階平面図



2階平面図

ご実家は1.2階合わせて約15坪程。1階は居間にキッチン、2階は寝室として利用していたご主人様のご実家。コンパクトな間取りでプライバシーの確保が難しく、また幼い子供達に目が届きにくい環境であり、また住宅が密集している為に日当たりが悪く、室内も明るい空間とは言えない印象でした。

リフォーム後



DIYの様子



1階平面図



2階平面図

コンパクトな中にプライベートと地域とのコミュニケーションが取れる間取りを考えました。1階と2階の用途を完全に分け、1階は食事をとる空間と水廻り、2階は家族だけの空間をつくりました。2階を家族のスペースにする事で、1階は地域の方や友人、ご主人様の活動の中で知り合った仲間との集まりやコミュニティスペースとしても利用でき、道路に面した掃き出し窓に腰掛けながら、地域の方と井戸端会議もできるようにしました。キッチンを1階に設ける事で、時には料理を作りその場でふるまう事もできます。地方や県外の仲間も多いご主人様。遊びに来た仲間との記念に玄関をフォトスポットとして使える様、黒板の壁や小窓を設けました。またキッチンや洗面台は簡易的に作り、必要な収納や機能は自分たちで足していけるようにしました。工事はDIYを取り入れ、床張りや塗装は全てMさんご家族を中心に、友人や同僚の皆さんと一緒に行いました。もちろんプロのサポートの元、出来ない所はお手伝いをしながら工事を進めていきました。自分たちが育った家に、自分たちで手を加え、その空間を自分たちで育てていく。また、ご主人様とお父様が一緒に床を張る姿は感慨深いものがありました。その姿がお子様のY君の記憶にずっと残り続けていくのだと思います。これからの暮らしの変化に合わせて、要素を足していけるよう良い意味で未完成なMさんのお家。ご家族のライフスタイルに合わせてDIYで変化していくMさんご家族の今後の暮らしがとて楽しみです。

①玄関の正面には、小窓と黒板の壁を設け、遊びに来た友人や家族と写真が撮れるフォトスポットへ。お出迎えが楽しくなる仕掛けが沢山詰まっています。
②ダイニングは天井を取外し、壁を白く塗装する事で明るく開放感のある空間に。1階の床はご主人様がお父様とDIYで施工。
③閉鎖的だったキッチンは、開放的になり子供達にも目が届き、奥様も安心してお料理ができます。
④廊下には洗面脱衣のスペースを作りプライバシーを確保。新たに造作の洗面台も作りました。
⑤日当たりの良い2階は家族のリビングと寝室へ。欄間を利用してDIYで本棚を作りました。2階の床はご夫婦で張り、壁や天井は友人と一緒に塗装。塗りムラや傷もDIYならではの。どの部屋も家族や友人との思い出が詰まった愛着の湧く家となりました。

応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	リフォーム内容
(株)大城	(株)大城建築設計事務所	(株)大城	30年	在来木造	一戸建	平成29年12月	60日間	400万円	内装全面リフォーム(一部DIY施工)